

登録コード	J5170200	開講年度	2026			
授業科目	金融論A				担当教員	ウェステニウス 嘉晃
英文授業名	Monetary Economics A				副担当	
単位数	2	講義期間	前期	曜日・時限	火曜・4時限	対象学年
講義室	経法第1講義室	授業区分	講義	遠隔授業科目		(20・23カリ対象科目) 経：2年/法：3年(23カリは法：2年)
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」				【授業の達成目標】	
	経法20加					
	経済学または法学が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。			金融論が積み上げてきた知識と思考に基づく判断を基礎力として身につけ、それを発揮できる力を身につける。		
	経法23加(2026改)・応用経済, 経法23加・応用経済					
	専門知識を応用・実践する力として、計量的分析手法によるデータ解析を用いたリスクの定量的評価、実験経済学による社会制度の機能の検証、医療や福祉の現場における社会調査の手法を実践した地域の問題発掘、法の経済分析を通じた法制度の効果・影響の検証、などのスキルを習得し、経済の実情に即した政策提言、あるいは企業行動の決定を行うことができる能力を身につける。			専門知識を応用・実践する力として、金融政策に関して経済の実情に即した政策提言を行うことができるようになる。		
	経法23加(2026改)・応用経済, 経法23加・応用経済, 経法20加・応用経済					
	【2020年度以降加付対象】専門領域での基礎知識として、経済学に基づく論理的思考法及び統計的分析手法を身につける。そして、経済理論の応用分野として、金融、公共政策、法や制度の経済分析をテーマとする3つの専門コースで、専門知識を具体的な問題解決に実践する力を身につける。			専門領域での基礎知識として、経済における貨幣や金融仲介の機能に関する理論に基づく基礎レベルの論理的思考法を身につける。		
	経法23加(2026改)・総合法律, 経法23加・総合法律					
	環境問題や、企業や行政の組織内において、日々生起する諸問題について、理工学分野や経済学分野の思考方法にも一定の理解を持ち、総合的に解決していくことのできる能力を身につける。			経済学分野の思考方法として、経済における貨幣や金融仲介の機能に関する理論に基づく基礎レベルの論理的思考法を身につけ、金融政策に関して経済の実情に即した政策提言を行うことができるようになる。		
(2)授業で学べる「テーマ」	その他					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	この講義では、一国経済における貨幣や金融仲介の機能に関する理論を中心に、貨幣経済学の基本的な知識について教科書に基づきながら説明する。第一に、経済システムにおける金融市場の役割について説明する。第二に、金融仲介機関の機能に関する理論の解説を行う。第三に、一国の通貨当局である中央銀行の役割や、その政策手段である金融政策の有効性について解説する。第四に、インフレーション・デフレーションと呼ばれる貨幣価値の変動に関する問題について議論する。					
(5)授業計画	第1回 金融市場 第2回 株価の理論 第3回 金融仲介機関の機能 第4回 銀行貸出・借入の意思決定 第5回 金融制度と規制 第6回 中央銀行の機能 第7回 物価と利子率, 確認テスト 第8回 貨幣の理論 第9回 金融政策 第10回 金融政策の有効性(1)：短期モデル 第11回 金融政策の有効性(2)：中期モデル 第12回 金融政策の有効性(3)：数値計算による分析 第13回 物価の財政理論 第14回 非伝統的金融政策 第15回 インフレとデフレ, 授業アンケート(最後の15分で実施) 期末試験					
(6)成績評価の方法	確認テスト(30%) + 期末試験(70%) 確認テストは学期中にeALPS上で実施する(実施日については初回の授業で説明する)。					
(7)成績評価の基準	授業で示した例題と同レベルの問題が解ければ「合格水準にある」、応用問題が解ければ「やや上にある」、やや難しい応用問題が解ければ「かなり上にある」、例題からは難しい応用問題が解ければ「卓越している」。					
(8)事前事後学習の内容	講義内容に関する問題を毎回提示するので、その問題を解くことによって講義内容を毎回復習しておくこと。					
(9)履修上の注意	・経済数学の基礎的な知識を前提とする。 ・Microsoft Excelなどの表計算ソフトを使える環境を整えておくこと。					
(10)質問,相談への対応	・講義中の質問を歓迎する。 ・個別の質問・相談がある場合は、まずはメールにて受け付ける。 ・メールアドレスとオフィスアワーについては初回の講義で案内する。					
【教科書】	清水克俊『金融経済学入門』(東京大学出版会、2018年)					

【参考書】	授業において指示する。
-------	-------------